

臨時教授会議事録

日時：平成23年3月23日（火）13時35分から15時35分

場所：電気通信研究所大会議室

議事に先立ち震災による犠牲者に対して黙祷を行った。

1. 地震による現状把握と今後について

（1）通研の状況について

議長から、配付資料に基づき通研の現状について報告があった。

なお、臨時部局長連絡会議について以下のとおり補足説明があった。

- ①4月25日授業開始予定であるが、工学研究科（人間環境系、マテリアル系、電気・情報系）、東北アジアの建物被害がひどく立ち入りができない状態であり、空きスペースを確保する必要があること。
- ②文部科学省へ対する被害報告をできるだけ把握し提出して欲しいこと。
- ③原発事故について仙台は特に問題はない。大学として測定結果の情報発信を行うことになったこと。
- ④安否確認は約90%確認済み。
- ⑤学生は帰省先の大学図書館が使用できること。
- ⑥科研費の特別推進などのヒアリングは個別に対応すること。

（2）青葉山の状況について

議長から、青葉山の状況について以下のとおり報告があった。

- ①電気系1号館の被害が酷く立ち入り禁止となっているため、2・3号館、情報科学研究科、通研の空きスペースを確保したいとのこと。
- ②4月25日授業開始予定ではあるが、時間割の練り直しなど授業計画自体の再考が必要であること。
- ③就職活動が困難になっており、企業に対し理解を求める依頼をすること。

（3）ナノ・スピンの実験施設の現状について

施設長から、ナノ・スピン実験施設の現状について以下のとおり報告があった。

- ①1、2階はあまり被害がなかったが、3階以上は設備が倒れたり照明が落ちかけたり状況がひどいこと。
- ②入退館管理システムは稼働していないこと。
- ③各研究室で一つの部屋はコンセントが使えるようにしたが、ショート等が考えられるので専門家の点検を受けてから全館通電を行う予定であること。

（4）ブレインウェア実験施設の現状について

施設長から、ブレインウェア実験施設の状況について、物の落下等はあったが特に大きな被害はなかったことが報告された。

（5）IT21センターの現状について

センター長から、IT21センターの現状について、ガスが止まって暖房が使用できないことや3階西側の実験室で物が散乱しているが、特に大きな被害はなかったことが報告された。

（6）やわらかい情報システム研究センターの現状について

サーバや無線LANを含め特に大きな被害はなかったことが報告された。

また、帰省している学生が学外からアクセスできるように設定したことのことである。

(7) 研究基盤技術センターの現状について

センター長から、研究基盤技術センターの現状について以下のとおり報告があった。

- ①工作部、評価部は特に大きな被害はなく復旧までにそれほど時間はかからないとのこと。
- ②プロセス部についてはロックアウトしており点検できない状態であること。PCRが使用できるようになるのは時間がかかりそうであること。

(8) 学生への進路指導について

学生への進路指導について以下のとおり報告があった。

- ①本来は24日から2次面接の予定だが、まだ1次面接がほぼ終了し希望企業の取りまとめを行っている段階であること。
- ②学生はほとんど帰省しており、3月中の面接は無理であること。
- ③企業に対して選考を遅らせて欲しい旨連絡を始めたこと。
- ④学生へ連絡が取れるように、携帯電話のメールアドレスなど確認しておいて欲しいこと。
- ⑤電気系HPの就職関係ページに情報を掲載するので確認して欲しいこと。

また、以下のとおり意見交換を行った。

- 1) 2次面接に学生を呼ぶ必要があるのか考慮願いたい。
- 2) 電気系教務係と連絡が取れない。2号館1階に移動するようだが現状を教えて欲しい。
- 3) 学生が非常に不安に思っている。早急に進路指導委員会を開催し今後の方針を決めて欲しい。
- 4) 大企業では自社のHP等で選考について考慮することや遅らせることを周知しているところもあるので、志望企業のHPはしっかりと確認するよう学生に指導して欲しい。

(9) 各研究室等の現状について

各教授等から各研究室等の現状について報告があった。人的被害はなかったが連絡の取れない学生や4月から配属される学部3年生、他大学等から大学院へ入学する学生について早急に安否確認をすることとした。

(10) その他

年度末であり予算執行が難しいこと、また企業の被災や交通手段の混乱により3月中の納品が難しいとの質問があり、事務長からできる範囲で執行し、納品についてはメールで案内する予定であるとの説明があった。

安全衛生管理室長より、早く研究を再開したいと思うかもしれないが、心身ともにストレスがかかっているので、ゆっくりと安全に再建を進めて欲しいこと、また仙台に一人が残っている学生へのケアを心がけて欲しいとの説明があった。

以上